

参考資料 4

平成14年度林野庁バイオマスエネルギー関係予算概算決定額

ソフト支援

- ・都市山村共生対流促進事業（拡充） 15（16）百万円の内数
山村地域における木質バイオマス等未利用資源の有効活用を通じて新たな就業機会の創出を図るため、地域の実情を踏まえて発電、熱供給等への利用方法の検討や利用計画の策定及び地元関係者への説明会の開催等を実施。
- ・地域木材産業活性化推進事業（新規） 56（0）百万円の内数
廃棄物の減量化、地球温暖化の防止、循環型地域社会の形成を図るため、木材産業と農業・畜産等との連携による再利用促進、建設発生木材の有効活用システムの策定、エネルギーとして利用するための効率的な運搬システムの策定等を実施。
- ・特用林産消費・流通等支援対策事業（継続） 33（42）百万円
再生産可能な木炭等について、土壌改良、水質や空気の浄化等環境改善分野における新たな利用を促進するため、木酢液の安定的製造法の確立、燃料用炭・新用途木炭の規格化に向けた検討を実施。

技術開発

- ・バイオマスエネルギー利用技術の開発（継続） 46（57）百万円
木材等のバイオマスを化石燃料に代替するエネルギーとして利用するため、木質ガス化燃料等の木質新燃料製造・利用技術の開発を実施。
- ・木材利用革新的技術開発促進事業（継続） 44（74）百万円の内数
民間企業等に対する公募方式により、木質廃棄物の抑制・再利用の促進及び木材の品質向上、環境への負荷の少ない木材加工等の木材の利用推進に係る革新的な新技術・新製品の開発を実施。

施設整備

- ・林業経営構造対策事業（新規） 1,589（0）百万円の内数
間伐材等の木質資源の有効利用を図る観点から、間伐材等のバイオマス利用促進施設や木質エネルギー施設等の整備を実施。
- ・木材産業構造改革事業（新規） 2,648（0）百万円の内数
外材に対抗できる木材の供給体制を推進し、森林資源の循環利用に資するため、木材産業の構造改革を踏まえて、森林バイオマス活用施設等の木材加工流通施設等の整備を実施。
- ・木質バイオマスエネルギー利用促進事業（新規） 353（0）百万円
製材工場残廃材、建設発生木材等の未利用木質資源のエネルギー化を促進するため、

バイオマス発電施設、熱供給施設、ペレット製造施設等の整備を実施。

・むらづくり維新森林・山村・都市共生事業（新規） 783（0）百万円の内数
循環型地域づくりに向けて、木質バイオマス資源等の自然エネルギー活用施設、林地残材等のチップ化のための機材整備、原料集積のための作業路網等の整備を実施。

・フォレスト・コミュニティ総合整備事業（拡充）
39,082（21,820）百万円の内数
緑豊かな森林に囲まれた居住環境（フォレスト・コミュニティ）を広く創出するため、山村基盤整備の一環として、自然エネルギーを利用した電気、熱等供給施設のための用地及び配管等の整備を実施。

・木材産業体質強化対策事業（新規） 89（0）百万円の内数
木材産業の体質強化を図るため、加工・流通の合理化や環境保全に資する設備（木くず焚きボイラー等）導入に要する借入金に対する利子助成を実施。

金融措置（継続）

・農林漁業金融公庫資金貸付枠 502億円の内数
・林業改善資金貸付枠 100億円の内数
・木材産業等高度化推進資金貸付枠 1,268億円の内数
製材工場における残廃材を利用したバイオマス発電や熱供給のための機械・施設、間伐材等の未利用資源の有効利用のための機械・施設の購入・設置に必要な資金の融資を実施。

独立行政法人森林総合研究所による研究(農林水産技術会議事務局)

・「農林水産バイオリサイクル研究」（拡充）のうち「農山漁村におけるエコシステム創出に関する技術開発」

600（495）百万円の内数
農林業廃棄物等を原料として、{C1化学変換により}メタノールを生産する技術の開発を実施。

・「地球温暖化が農林水産業に与える影響の評価及び対策技術の開発」（拡充）のうち「農林業におけるバイオマスエネルギー実用化技術の開発」

399（180）百万円の内数
バイオマスエネルギーの実用化に向けて、産学官の連携の下に、農林業分野における廃棄物系のバイオマスエネルギー変換・利用について技術開発及び地域バイオマスエネルギー利用システム構築のための実証研究を実施。